

# Sharing Grandchild

孫レンタルサービス



作成: 株式会社HATASE HOLDINGS

# SUMMARY

- ・マーケット規模は一定数存在し、高齢者・シニア層のインターネット普及率も右肩上がりの傾向にはあるが、まだ普及率と SNSやアプリを活用しての高齢者の生活が根付いていないため、時期尚早であるとの議論がある。
- ・孫レンタルサービス市場では米国企業 PaPa inc.が独占的の大手である。米国市場みでのサービス普及となっている。
- ・サービス受容者の観点から分析すると、競合・関連サービスとして、便利屋・訪問看護などが上げられるが、サービスの目的・観点が異なる。たとえば、便利屋においては心の交流を通じた満足度ではなく、技術的、年齢的に手が回らないいけないの困りごと解決に視点が置かれている。
- ・孫レンタルサービスにおいて考え得る経営上のリスク分析：
  - ①登録者の限定はあるが、逆に高齢者への規制は？チェックは？どうやっていくのか？
  - ②自宅訪問については問題ないか？個人情報保護等の観点
  - ③セクシャルハラスメントなどの犯罪へのリスクは？

# Papa – Grandkids On-Demand

Papa, Inc.

## Family On-Demand

Papa pairs motivated college students with older adults and families who need companionship and assistance with everyday tasks. We offer programs to health plans, providers, employers, and consumers.



孫を務める大学生は事前に面接と厳密なバックグラウンドチェックを受けている。選考通過率4%とのことだが、600人を超える「孫」が在籍している。利用料金は1時間当たり20ドル、うち12ドルが孫に支払われる。月額30ドルのプレミアム会員になると、ランダムに派遣される孫ではなく、お気に入りの孫を指定できるようになる。

現在はシニア本人が利用する、または遠く離れた家族が孫を派遣するような形でサービスを利用できる。

# 米国オンデマンド孫サービス「Papa」

**App Store Preview**

**iPhone Screenshots**

The image displays four sequential screenshots of the Papa app on an iPhone. Each screenshot is set against a colored background: dark blue for the first and third, and pink for the second and fourth.

- Screenshot 1 (Dark Blue):** Titled "Request a Papa Pal". It shows a profile for Timothy Larke with a "REQUEST" button at the bottom. Below the profile are icons for "Map", "Cal", and "Tasks".
- Screenshot 2 (Pink):** Titled "Papa Pals accept a request". It shows a "VISIT REQUEST" for Jane Green, Papa, with an "ACCEPT REQUEST" button at the bottom.
- Screenshot 3 (Dark Blue):** Titled "Papa Pals help families". It shows "Papa Pal Guidelines" with a list of instructions and a "I UNDERSTAND & CONFIRM VISIT" button at the bottom.
- Screenshot 4 (Pink):** Titled "Your loved ones are assisted". It shows a profile for Timothy Larke with a "REQUEST" button at the bottom and a "CALL PAPA SUPPORT" button above it.

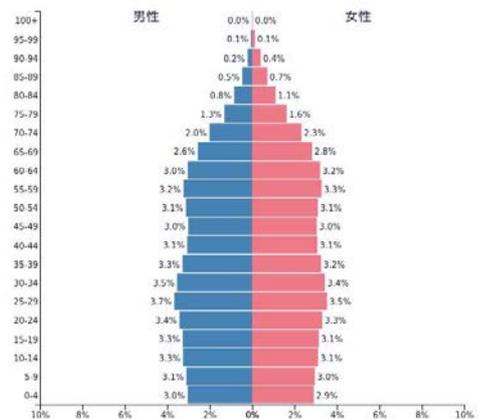
# 米国オンデマンド孫サービス「Papa」





MARKET

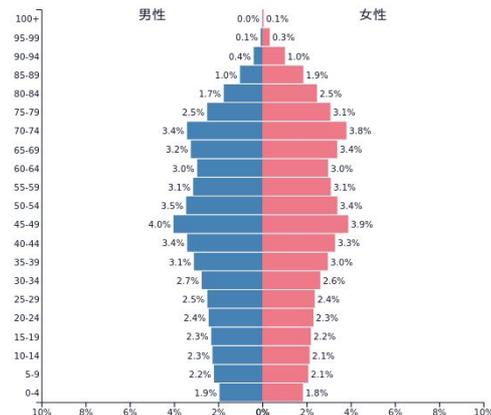
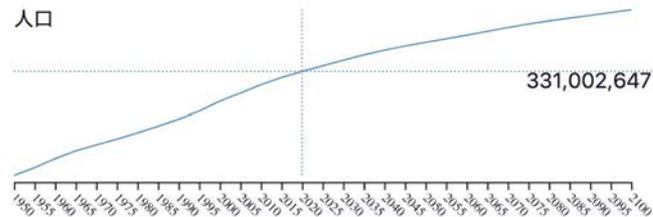
# MARKET: 日本とアメリカの比較



PopulationPyramid.net

アメリカ合衆国 - 2020  
人口: 331,002,647

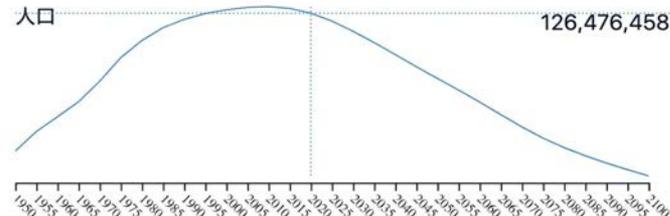
## USA人口ピラミッドと人口動態の変化 (1950-2100)



PopulationPyramid.net

日本 - 2020  
人口: 126,476,458

## Japan人口ピラミッドと人口動態の変化 (1950-2100)



## 日本は高齢化先進国

### ■「65歳以上人口の比率」のランキング※2020年

- 1位 日本:28.5%
- 2位 イタリア:24.0%
- 3位 ドイツ:22.7%
- 4位 フランス:20.8%
- 5位 スウェーデン:20.7%

### ■「65歳以上人口の比率」のランキング(アジア)※2020年

- 1位 日本:28.5%
- 2位 香港:18.2%
- 3位 韓国:15.8%
- 4位 シンガポール:15.1%
- 5位 タイ:13.0%

表2-2：世界主要国における老年人口（65歳以上）の推移

(単位：%)

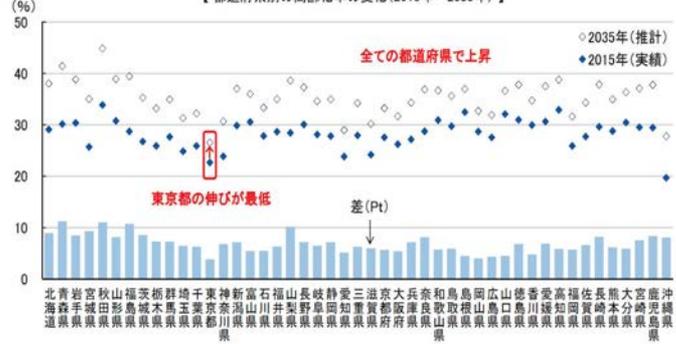
■比率

国名	1980年	2000年	2010年	2015年	2020年	2030年	2050年
アメリカ	11.4	12.3	13.0	14.8	16.7	20.7	22.2
カナダ	9.4	12.5	14.2	16.1	18.3	23.5	26.4
イギリス	14.9	15.8	16.2	17.8	18.4	21.4	24.7
ドイツ	15.7	16.2	20.6	21.2	22.7	28.0	32.3
フランス	13.9	16.1	17.0	19.1	20.8	23.9	26.3
イタリア	13.3	18.1	20.4	22.4	24.0	28.6	35.1
スウェーデン	16.3	17.3	18.2	19.9	20.7	22.2	23.8
ロシア	10.3	12.4	13.1	13.4	15.2	18.8	20.9
日本	9.0	17.2	22.9	26.3	28.5	30.4	36.3
中国	4.5	6.7	8.2	9.6	12.1	17.2	27.6
香港	5.9	11.0	12.9	15.1	18.2	26.3	34.5
韓国	3.9	7.3	11.1	13.1	15.8	23.7	35.1
シンガポール	4.7	7.3	9.0	11.7	15.1	23.3	33.9
マレーシア	3.6	3.8	4.9	5.9	7.0	9.9	16.8
タイ	3.7	6.6	8.9	10.5	13.0	19.5	30.1
インドネシア	3.6	4.7	4.9	5.2	5.9	8.4	14.0
フィリピン	3.2	3.2	4.2	4.6	5.1	6.7	9.7
インド	3.6	4.4	5.1	5.6	6.5	8.5	13.7
ベトナム	5.3	6.4	6.5	6.7	8.0	12.4	21.0
オーストラリア	9.6	12.4	13.5	15.0	16.3	19.4	22.5
ニュージーランド	9.8	11.8	13.0	14.9	16.7	21.2	24.1
ブラジル	3.7	5.1	6.7	7.8	9.4	13.5	22.8

## 1. (5) 高齢化率: ①2015年26.6%から2035年32.8%へ上昇

- 2015年から2035年にかけて、全ての都道府県で高齢化率(65歳以上人口比率)が上昇
- ・ 2015年は19.7%(沖縄県)~33.8%(秋田県)、2035年は26.5%(東京都)~44.9%(秋田県)
- ・ 高齢化率の伸びは東京都(3.8%Pt)が最低。一方、4県(青森県、秋田県、福島県、山梨県)が10%Ptを超える

【都道府県別の高齢化率の変化(2015年→2035年)】

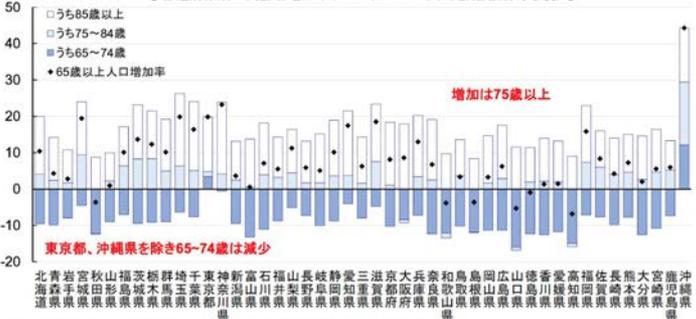


(資料)国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2018年3月)より、みずほ総合研究所作成

## 【参考】65歳以上人口のうち、75歳以上人口の増加が顕著

- 2015年から2035年にかけての高齢者の増加の多くは75歳以上人口の増加による
- ・ 65~74歳人口は286万人減少、75~84歳は120万人増加、85歳以上は508万人増加
- ・ 65~74歳人口が増加するのは東京都と沖縄県のみ

【都道府県別の高齢者増加率(2015年→2035年、年齢階級別寄与度)】



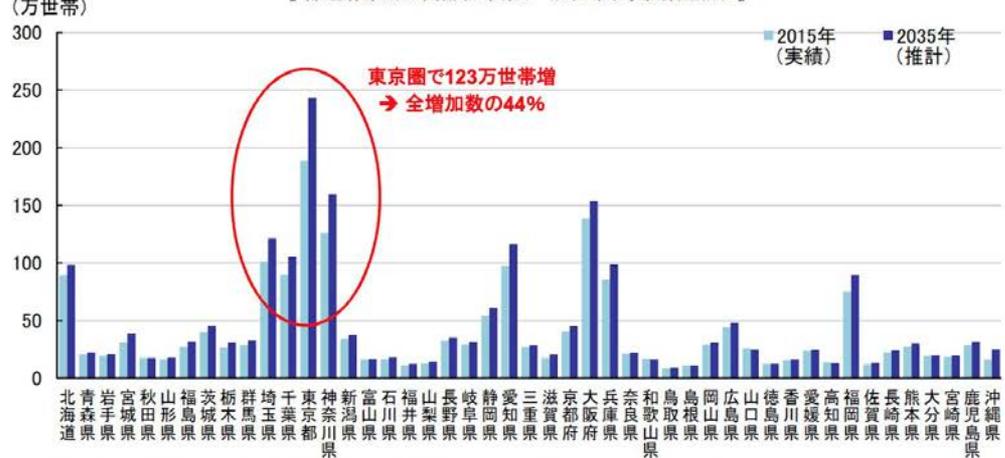
(資料)国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2018年3月)より、みずほ総合研究所作成

マーケットの増加と、ITリテラシーの高く、サービス展開が行いやすい東京圏でのシニア層拡大が見込める。

## 2. (4) 高齢世帯: 東京圏を中心に増加

- 2015年から2035年にかけて、高齢世帯(世帯主65歳以上世帯)の増加数の44%を東京圏(123万世帯増)が占める
- ・ 増加数が10万世帯超は東京圏と愛知県、大阪府、福岡県、兵庫県
- ・ 減少するのは山口県、高知県、和歌山県、島根県の4県のみ

【都道府県別の高齢世帯数(一般世帯、家族類型計)】

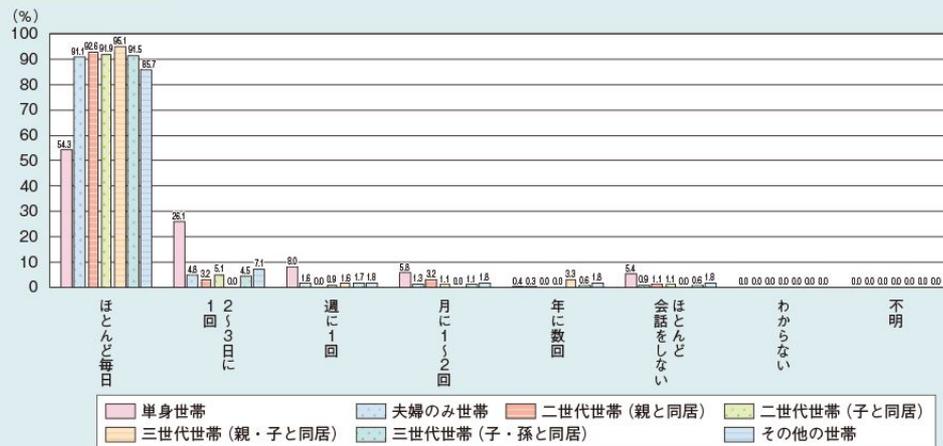


(資料)総務省「国勢調査」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」(2018年3月)等より、みずほ総合研究所作成

出所:みずほ総合研究所/2018.12.13/都道府県別の高齢化と個人金融資産の状況  
~今後、個人金融資産は東京都や神奈川県に集中~

――内閣府の調査によると、日本では一人暮らしの60歳以上の高齢者のうち、会話の頻度が2～3日に1回以下という人が男性では28.8%、女性は22%いるという。

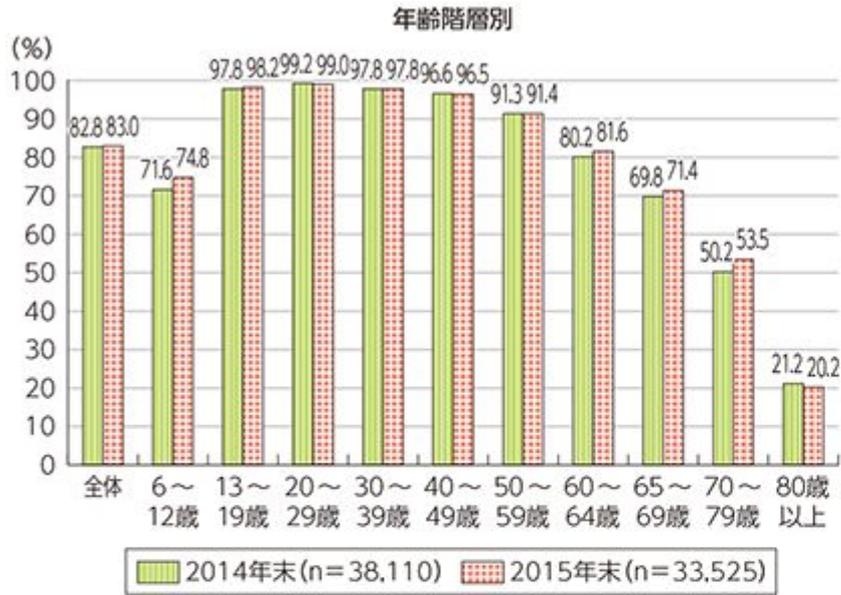
図1-3-2-8 家族や友人との会話（択一回答）（世帯別）



	ほとんど毎日	2～3日に1回	週に1回	月に1～2回	年に数回	ほとんど会話をしない	わからない	不明	会話をする(計)
単身世帯	54.3	26.1	8.0	5.8	0.4	5.4	-	-	94.6
夫婦のみ世帯	91.1	4.8	1.6	1.3	0.3	0.9	-	-	99.1
二世帯世帯(親と同居)	92.6	3.2	-	3.2	-	1.1	-	-	98.9
二世帯世帯(子と同居)	91.9	5.1	0.9	1.1	-	1.1	-	-	98.9
三世帯世帯(親・子と同居)	95.1	-	1.6	-	3.3	-	-	-	100.0
三世帯世帯(子・孫と同居)	91.5	4.5	1.7	1.1	0.6	0.6	-	-	99.4
その他の世帯	85.7	7.1	1.8	1.8	1.8	1.8	-	-	98.2

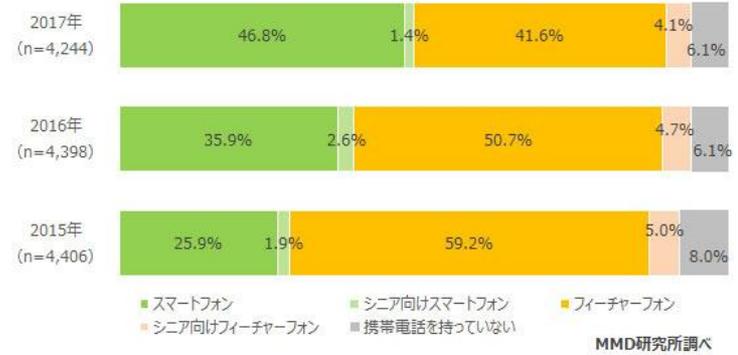
	ほとんど毎日	2～3日に1回	週に1回	月に1～2回	年に数回	ほとんど会話をしない	わからない	不明	会話をする(計)
男性 単身世帯	45.7	22.3	12.8	6.4	1.1	11.7	-	-	88.3
女性 単身世帯	58.8	28.0	5.5	5.5	-	2.2	-	-	97.8

## シニア世代のネット、スマホ利用状況

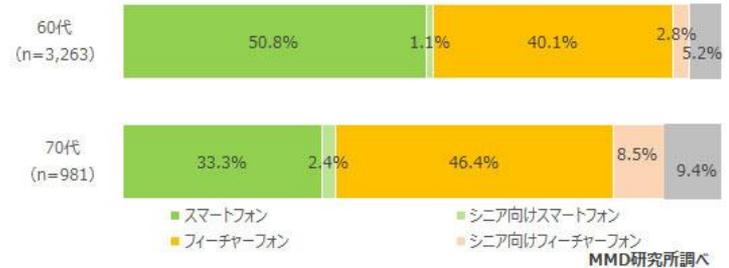


(出典)総務省「通信利用動向調査」

### ● シニアの携帯電話所有内訳



### ● シニアの携帯電話所有内訳 ※年代別



出所)MMD研究所2017年シニアのスマートフォン利用に関する調査

[https://mmdlabo.jp/investigation/detail\\_1654.html](https://mmdlabo.jp/investigation/detail_1654.html)

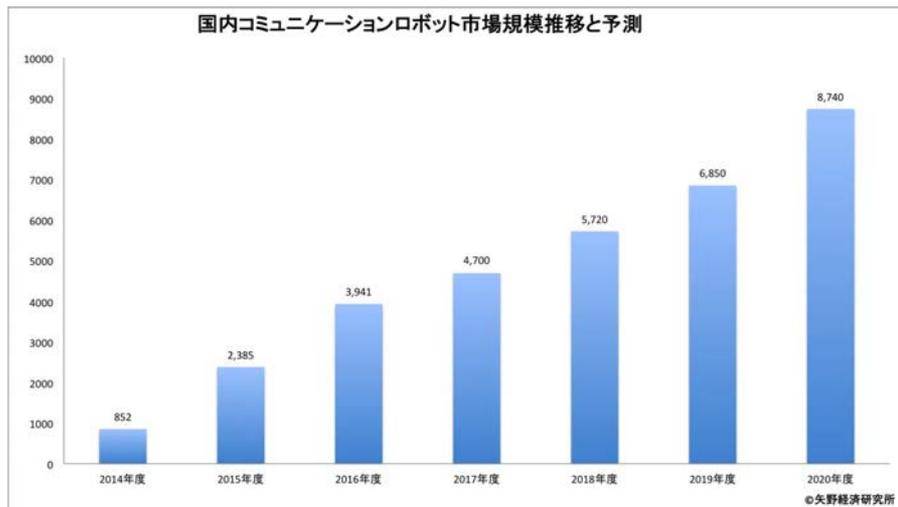


BUSINESS

## コミュニケーションロボットの影響

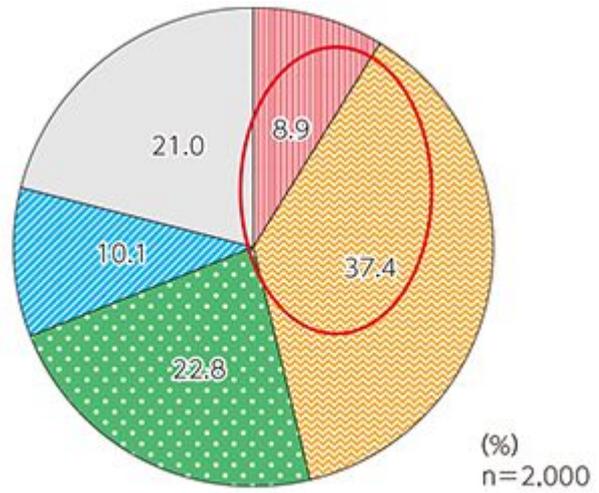


国内コミュニケーションロボット市場規模推移と予測



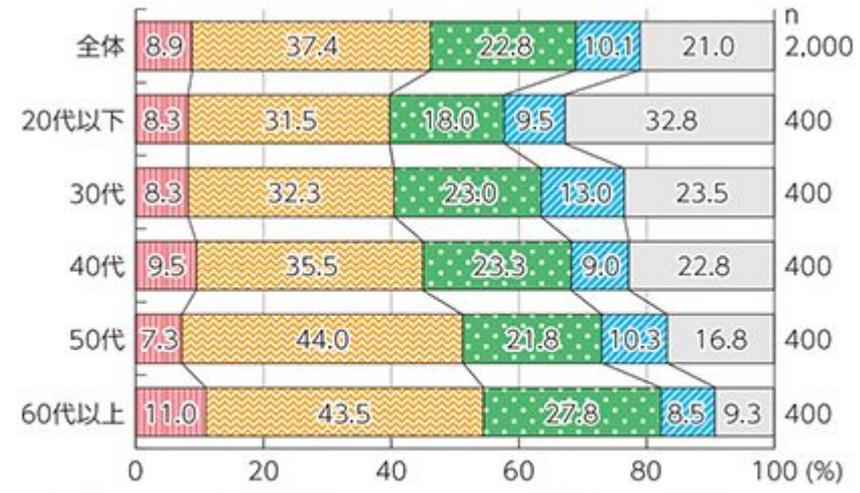
コミュニケーションロボットの需要と台頭が目立つ。

コミュニケーションロボットの利用意向



利用したい
  利用を検討してもよい
  あまり利用したくない
  利用したくない
  必要性を感じない

コミュニケーションロボットの利用意向(年代別)



利用したい
  利用を検討してもよい
  あまり利用したくない
  利用したくない
  必要性を感じない

(出典)総務省「社会課題解決のための新たなCTサービス・技術への人々の意識に関する調査研究」(平成7年)  
<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h27/html/nc241350.html>

## 日本で最も普及しているシニア向けSNS

---らくらくコミュニティは、富士通株式会社が提供しているシニア向けSNS。元々NTTドコモの「らくらくスマートフォン」向けのコミュニティサービスでしたが、2013年に大幅リニューアルし、SNSとして広く会員を集めています。



# BUSINESS

類似マーケット  
訪問看護・訪問介護は？

----こちらでも、問題となっているのが、訪問した在宅の家の不清潔さなど、働き手が定着しにくい要因は指摘されている。



便利屋は？

-----便利屋のお仕事の基本は、日常生活の困りごとを助けてくれるということ。

## 便利屋さんは、具体的になにをしてくれるの？

---

では、具体的に便利屋さんがどのような仕事をしてくれるのでしょうか。  
便利屋で人気のお掃除サービスですが、多くの便利屋では単なるお掃除に終わらず、プロのお掃除を提供してくれます。専門の道具に専門知識。素人ではとても出来ないレベルのお掃除を提供してくれます。  
このほかにも、エアコンの取り付け、ガスのチャージ、水廻りのメンテナンスなど様々なサービスがあるのですが、そのどれもがプロの仕事です。最近では、墓参りにいけない方の変わりに墓参り代行、清掃をおこなう便利屋もあるそうですが、この清掃もまさにプロのお仕事です。便利屋さんは、日常的な困りごとをプロのレベルでこなしてくれる、本当に頼りになるご近所さんなのです。



サービスに温かみや、心の不足感を満たすことを含んでいない。

孫のレンタルサービスは孤独に悩む高齢者を救えるか？

---孤独がわたしたちの健康に悪影響を及ぼすことは、これまでの調査が証明している。例えば、ある研究は、心臓病や糖尿病、認知症に関係するストレス・ホルモンの上昇に孤独がどう影響しているかを調べている。

また、孤独を感じている人はそうでない人に比べて、早期死亡のリスクが50%高いとする別の研究結果もある。

August 5, 2017

## So Lonely I Could Die

*Social isolation, loneliness could be greater threat to public health than obesity, researchers say*

WASHINGTON — Loneliness and social isolation may represent a greater public health hazard than obesity, and their impact has been growing and will continue to grow, according to research presented at the 125th Annual Convention of the American Psychological Association.

- "Being connected to others socially is widely considered a fundamental human need — crucial to both well-being and survival. Extreme examples show infants in custodial care who lack human contact fail to thrive and often die, and indeed, social isolation or solitary confinement has been used as a form of punishment," said Julianne Holt-Lunstad, PhD, professor of psychology at Brigham Young University. "Yet an increasing portion of the U.S. population now experiences isolation regularly."

Approximately 42.6 million adults over age 45 in the United States are estimated to be suffering from chronic loneliness, according to AARP's Loneliness Study.

In addition, the most recent U.S. census data shows more than a quarter of the population lives alone, more than half of the population is unmarried and, since the previous census, marriage rates and the number of children per household have declined.

"These trends suggest that Americans are becoming less socially connected and experiencing more loneliness," said Holt-Lunstad.

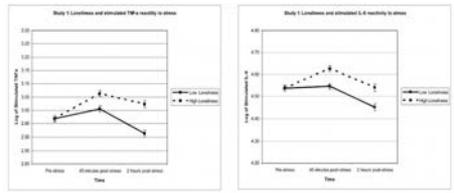
**NIH Public Access**  
**Author Manuscript**  
Psychol Sci. Author Manuscript; available in PMC 2014 July 01.

Published in final edited form as:  
*Psychol Sci* 2013 July 1; 24(7) : . doi:10.1177/0956797612464059.

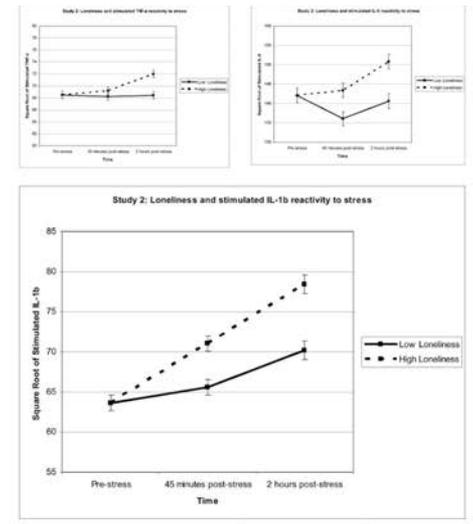
**Loneliness Promotes Inflammation During Acute Stress**

**Lisa M. Jaremka<sup>a</sup>, Christopher P. Fagundes<sup>a</sup>, Juan Peng<sup>b</sup>, Jeanette M. Bennett<sup>b,c</sup>, Ronald Glaser<sup>d,e,f</sup>, William B. Malarkey<sup>a,d,f</sup>, and Janice K. Kiecolt-Glaser<sup>h,i,g</sup>**

<sup>a</sup>Institute for Behavioral Medicine Research, The Ohio State University College of Medicine  
<sup>b</sup>College of Public Health, The Ohio State University College of Medicine  
<sup>c</sup>Division of Oral Biology, The Ohio State University College of Dentistry  
<sup>d</sup>Department of Internal Medicine, The Ohio State University College of Medicine  
<sup>e</sup>Department of Molecular Virology, Immunology and Medical Genetics, The Ohio State University College of Medicine  
<sup>f</sup>Comprehensive Cancer Center, The Ohio State University College of Medicine  
<sup>g</sup>Department of Psychiatry, The Ohio State University College of Medicine



**Figure 1.** Figure 1a and b. To illustrate the relationship between loneliness and inflammation, Study 1 averages of stimulated TNF- $\alpha$  and IL-6 production were graphed for participants 1 standard deviation above and below the mean of loneliness. Sample means were estimated using a model that included loneliness as a continuous measure and are adjusted for SAD, age, and gender.



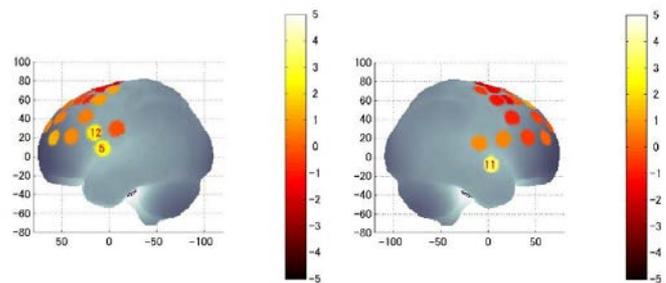
**Figure 2.** Figure 2a-c. To illustrate the relationship between loneliness and inflammation, Study 2 averages of stimulated TNF- $\alpha$ , IL-6, and IL-1 $\beta$  production were graphed for participants 1 standard deviation above and below the mean of loneliness. Sample means were estimated using a model that included loneliness as a continuous measure and are adjusted for SAD, age, time since treatment, and comorbidities.

Ref. People can be lonely even if they're married or have a ton of friends – and the ones we worry about probably aren't those most at risk  
<https://www.businessinsider.com/people-are-most-likely-to-be-lonely-as-teenagers-and-young-adults-2017-12>

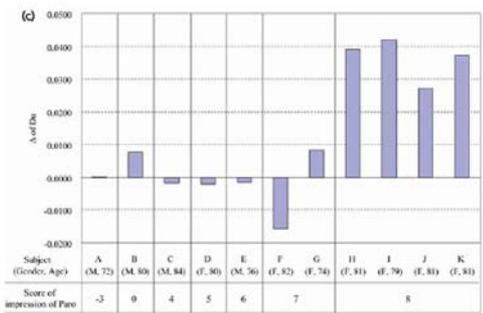
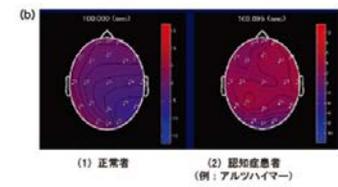
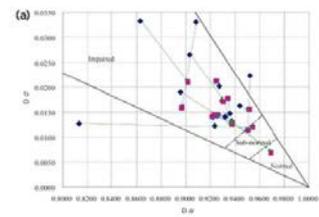
Ref. NIH Public Access Author Manuscript Psychol Sci. Author manuscript; available in PMC 2014 July 01.  
<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3825089/pdf/nihms520498.pdf>

-----産総研が行った介護老人保健施設における実証研究や世界各地での治験結果によれば、社会的効果(高齢者同士や介護者との会話の増加)や心理的効果(気分、うつ、不安、痛み、孤独感の改善等)、生理的効果(ストレスの低減、血圧の安定化等)が見られたという。

また、国立研究開発法人日本医療研究開発機構では、人を相手に音声や動作で働きかける機能などを搭載した「コミュニケーションロボット」を活用し、介護現場に導入する効果等を分析するための大規模調査を実施し、2017年に成果発表を行ったが、対象者866名のうち296名(34.2%)について、生活上の自立度向上及び生活の活発化についての改善効果が認められた。



・パロとの触れ合いと、ストレス・タスクの差分による脳血流の計測  
 ・パロとの触れ合いにより前頭前野の血流が増加し、特に言語野(5)が統計的に有意に増加



出所)メンタルコミットロボット「パロ」の開発と普及:認知症等の非薬物療法のイノベーション:柴田崇徳

[https://www.istage.ist.go.jp/article/johokanri/60/4/60\\_217/html-char/ja](https://www.istage.ist.go.jp/article/johokanri/60/4/60_217/html-char/ja)

- Old people are more likely to be alone, but that doesn't mean they are the most lonely.
- Research shows loneliness is greatest among teenagers and young adults.
- Loneliness at any age can affect our mental and physical health.

孤年を取れば、健康問題のリスクも高まる。もし加齢とともに孤独感も増すようなら、これは悪い知らせだ。

しかし、年を取るにつれ1人暮らしの可能性が高まり、孤独になるだろうという考えは、間違いかもしれない。

アメリカ・ユタ州にあるブリガム・ヤング大学の心理学教授ジュリアン・ホルト・ランスタッド (Julianne Holt-Lunstad) 氏は、孤独を最も感じているのは、実際はティーンエイジャーや若者だと、その著書で述べている。

ホルト・ランスタッド氏とその同僚が70の調査研究の分析によると、孤独に関連する病気のリスクは65歳以上よりも65歳以下の方が高いことが分かった。

また、アメリカのNational Social Life, Health and Aging Projectによると、年老いた人々の中で頻繁に孤独を感じているのは30%だという。

## National Social Life, Health, and Aging Project (NSHAP)

The health of older adults is influenced by many factors. Among them, social support and personal relationships remain some of the least understood. The National Social Life, Health, and Aging Project (NSHAP) is a longitudinal, population-based study of health and social factors, aiming to understand the well-being of older, community-dwelling Americans by examining the interactions among physical health and illness, medication use, cognitive function, emotional health, sensory function, health behaviors, social connectedness, sexuality, and relationship quality. NSHAP provides policy makers, health providers, and individuals with useful information on and insights into these factors, particularly on social and intimate relationships. The study contributes to finding new ways to improve health as people age.

### The Surprising Effects of Loneliness on Health



Ref. People can be lonely even if they're married or have a ton of friends — and the ones we worry about probably aren't those most at risk  
<https://www.businessinsider.com/people-are-most-likely-to-be-lonely-as-teens-and-young-adults-2017-12>

Ref. National Social Life, Health, and Aging Project (NSHAP)  
<https://www.norc.org/Research/Projects/Pages/national-social-life-health-and-aging-project.aspx>

Ref. The New York Times/The Surprising Effects of Loneliness on Health  
<https://www.nytimes.com/2017/12/11/well/mind/how-loneliness-affects-our-health.html>



# REGULATION

# SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標



出所)外務省 持続可能な開発目標SDGsとは

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/oda/sdgs/about/index.html>



REFERENCES

# REFERENCES

\* People can be lonely even if they're married or have a ton of friends — and the ones we worry about probably aren't those most at risk

<https://www.businessinsider.com/people-are-most-likely-to-be-lonely-as-teenagers-and-young-adults-2017-12>

\* 独立行政法人労働政策研究・研修機構「データブック国際労働比較2017」

<https://www.jil.go.jp/kokunai/statistics/databook/2017/index.html>

\* みずほ総合研究所/2018.12.13/都道府県別の高齢化と個人金融資産の状況 ～今後、個人金融資産は東京都や神奈川県に集中～

<https://www.mizuho-ri.co.jp/publication/research/pdf/urgency/report181213.pdf>

\* 内閣府 健康と日常生活/平成30年版高齢社会白書

[https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/zenbun/s1\\_3\\_2\\_1.html](https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/w-2018/html/zenbun/s1_3_2_1.html)

\* MMD研究所2017年シニアのスマートフォン利用に関する調査

[https://mmdlabo.jp/investigation/detail\\_1654.html](https://mmdlabo.jp/investigation/detail_1654.html)

\* 総務省「社会課題解決のための新たなICTサービス・技術への人々の意識に関する調査研究」(平成27年)

<https://www.soumu.go.jp/johotsusintokei/whitepaper/ja/h27/html/nc241350.html>

\* People can be lonely even if they're married or have a ton of friends — and the ones we worry about probably aren't those most at risk

<https://www.businessinsider.com/people-are-most-likely-to-be-lonely-as-teenagers-and-young-adults-2017-12>

\* NIH Public Access Author Manuscript Psychol Sci. Author manuscript; available in PMC 2014 July 01.

<https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC3825089/pdf/nihms520498.pdf>

\* メンタルコミットロボット「パロ」の開発と普及：認知症等の非薬物療法のイノベーション:柴田 崇徳

[https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/60/4/60\\_217/\\_html/-char/ja](https://www.jstage.jst.go.jp/article/johokanri/60/4/60_217/_html/-char/ja)

\* People can be lonely even if they're married or have a ton of friends — and the ones we worry about probably aren't those most at risk

<https://www.businessinsider.com/people-are-most-likely-to-be-lonely-as-teenagers-and-young-adults-2017-12>

\* National Social Life, Health, and Aging Project (NSHAP)

<https://www.norc.org/Research/Projects/Pages/national-social-life-health-and-aging-project.aspx>

\* The Newyork times/The Surprising Effects of Loneliness on Health

<https://www.nytimes.com/2017/12/11/well/mind/how-loneliness-affects-our-health.html>

